

議 会  
だより

# あしや

町

NO. 188

平成 28 年 2 月 15 日発行  
福岡県芦屋町議会



もくじ

12 月定例会

- 下水道料金値上げ 平成28年5月から・・・・・・・・・・ 2
- 平成28年の抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 4人が町政を問う（一般質問）・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 町かどインタビュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

芦屋東小学校では、5年生によるもちつきが行われました。もちつきに使われたもち米は、昨年5年生が田植えしたものです。この日はJA青年部と祖母学級の方たちがお手伝いに来ていました。

(平成28年1月13日撮影)

第4回定例会が、平成27年12月4日から15日までの12日間の会期で開催されました。7日に行われた一般質問では、4人の議員が登壇しました。  
条例、補正予算など18議案が提案され、請願を除いてすべての議案が可決されました。

## 条例

### 下水道条例一部改正の改正

（満場一致・可決）  
28年4月1日から予定されていた下水道料金の改定時期を5月1日から変更するものです。

**行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定情報の提供に関する条例の制定**

（賛成多数・可決）

番号法に規定されている以外の事務（子ども医療費の支給に関する事務他）について個人番号の

利用、特定個人情報の利用及び提供を行うことに

関し、執行機関内や執行機関間で特定個人情報のやりとりを可能にするこ

### 質疑

問 この条例と

マイナンバー制度との関係は、

答 マイナン

バー制度は、社会保障・災害に限り利用で

きますが、町が

新しい個人情報

を利用する場合は、独自に条例を制定しなければなりません。

## その他

### 町道の路線認定

（満場一致・可決）

福岡県との道路移管協定に伴い、国道495号を町道認定します。

### 【移管する区間】

浜口町信号から競艇場入口信号の間

## 行政報告

行政報告とは・・・  
町長が議会を通じて町の重要な問題の経過等を住民に報告するものです。ここでは、平成27年9月から12月までにおける行政報告の一部を掲載しています。

### 大君焼却場跡地のメガソーラー事業開始

メガソーラー事業は、27年4月から事業者の芝浦ホールディングスに大君焼却場跡地の貸付けを行い、事業者により造成工事及びメガソーラー設備の設置工事が進められていました。この度、工事が完了し、10月31日から発電が開始されました。

太陽光パネル1万2240枚による発電量は、年間470



大君焼却場跡地に設置されたメガソーラー



県から移管された国道495号線

# 鶴松団地前バス停シェルター設置工事など

一般会計補正予算 5500万円増額

正算  
補予

## 歳出の主な内容

補正のあった歳出の主な内容	補正額
緑ヶ丘保育所指定管理料 (入所児童数の増及び防衛省からの補助金)	1870万円
松くい虫防除委託(伐倒駆除)	560万円
鶴松団地前バス停シェルター設置工事	187万円
緑ヶ丘団地12棟復旧工事実施設計委託	300万円
中央公民館自家発電設備改修工事	117万円

歳入では、緑ヶ丘保育所保育料711万円や財政調整基金繰入金4708万円を増額措置しています。また、歳出では緑ヶ丘保育所指定管理料1870万円、松くい虫防除委託(伐倒駆除)560万円など、総額5500万円の増額補正です。  
(満場一致・可決)



### 一般会計補正予算(第3号)

(満場一致・可決)

#### 質疑

#### 保育所指定管理料

**問** 緑ヶ丘保育所の指定管理料が増額となった理由は。

**答** 入所児童数が当初の見込みより増加したことに伴う措置増加分及び電気料金に対する防衛省からの補助額が確定したためです。

#### 緑ヶ丘団地復旧工事

**問** 緑ヶ丘団地12棟復旧工事設計委託の内容は。

**答** 先日、火災が起きた町営住宅の復旧工事を行うため、躯体調査や強度調査、内部及び外部の改修工事に係る設計を行います。

#### 中央公民館自家発電

**問** 中央公民館自家発電設備改修工事設計委託の

内容は。

**答** 自家発電設備の老朽化による取替え工事のための設計を行います。

### モーターボート競走事業会計補正予算(第3号)

(満場一致・可決)

**問** 燃料方式とバッテリー方式の比較検討はしたのか。

**答** 設計時に比較検討しませんが、SGレースの売り上げ増により電話投票、協力場、ミニボートピア嘉麻及び場外発売受託事業の売り上げ増に伴う発売金など77億3800万円の増額補正です。



27年11月に競艇場の外向け発売所横にオープンした「アシムカフェ」

# 意見書 請願等

## 芦屋港の活用・活性化の推進を求める意見書

(満場一致・可決)

福岡県に対し、芦屋港を物流機能から脱却した観光立町にふさわしい、芦屋港の活用・活性化のための構想策定と事業実施を推進するよう強く求める意見書です。

## よりよい保育の環境づくりについての意見書提出に関する請願書

(賛成少数・不採択)

新制度の実施主体である市町村が十分に役割を果たし、「すべての子ども・子育て家庭を対象に、幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援



活用・活性化が期待される芦屋港

### 反対討論

財政難の中さらなる財源の確保は難しい

辻本一夫議員

の質・量の拡充を図る」とする子ども・子育て支援法の趣旨を踏まえ、取り組みの一層の推進が図られるよう、財源の確保に加えて制度の改善が必要です。そのため、国に対して「子ども・子育て支援新制度に対する意見書」を提出することを求める請願です。

「子ども・子育て支援」の新しい制度は、保育士の処遇改善も含め、本年4月より引き上げられた消費税率8%の財源で、7000億円程の確保と追加の恒久財源で「質・量の充実」が図られている。支援の必要性は理解

するが、厳しい国の財政状況の中で賛同するのは適切ではない。

### 賛成討論

子どもの教育を受け  
る権利の保障を

川上誠一議員

4月から施行の「子ども・子育て支援制度」は、

財源確保を含め十分ではない。保育士の処遇の改善、保育料の引き下げ等、意見書で求めることはどれも当然のことだ。しかし、委員会では「国で審議している」などの理由で不採択となった。すべての子どもの豊かな教育を受ける権利の保障は、国と自治体が責任をもって行うべき。

TPP（環太平洋連  
携協定）に関する意  
見書の提出を求める

陳情書

(賛成多数・採択)

TPPが国民生活の根

本に関わる重大問題であることを踏まえ、次の3項目を実現するよう国への意見書の提出を求める陳情です。

①「大筋合意」の内容の全ての公表を行い、地方経済や地域農業に与える影響試算など早急な情報提供を行うこと。  
②合意内容が農林水産分野の重要5品目の確保を最優先した国会決議が遵守されたもので、国益にかなった結果となっているか国会で十分な審議を行うこと。  
③生産者が農業経営継続できるよう、現場の声を踏まえた農業への必要な対策と予算の確保を行うとともに、長期的な農業政策の確立を行うこと。

### 賛成討論

生産者の不安を払拭  
せよ

内海猛年議員

TPPは関税の撤廃・削減や貿易手続きの簡素化による商品の安価購入や日本製品の輸出促進などのメリットがあると期待される。

一方、農林水産物の関税削減や輸入枠の新設等により生産者の経営を圧迫するなどの問題も指摘されている。生産者の不安を払拭するためにも情報提供や国会での十分な審議などが必要である。

### 反対討論

国民に十分な説明を

刀根正幸議員

意見書案の1項目と3項目については、十分な



## 12月定例会意見がわかれた議案の賛否一覧

表決にあたり、意見が分かれた議案の賛否について掲載しています。掲載のない議案は、満場一致で可決されました。 ○賛成、× 反対、欠は欠席を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	松上	松岡	今田	内海	刀根	妹川	貝掛	田島	辻本	川上	横尾	小田			
芦屋町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	議長	9	1	可決
よりよい保育の環境づくりについての意見書提出に関する請願書	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	○	×	議長	1	9	不採択
TPP（環太平洋連携協定）に関する意見書の提出を求める陳情書	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	議長	9	1	採択
TPP（環太平洋連携協定）に関する意見書	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	議長	9	1	可決



### 平成28年の抱負

町議会を代表いたしましたし、平成28年を迎えて一言ご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、年があけて既に一月余り経ちますが、ますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

また、皆様方には、日頃から町議会に対し、ご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、現在、地方の自治体では、長引く景気の低迷や少子高齢社会の到来など、さまざまな課題に直面し、今まさに、まちづくりのあり方そのものが大きく問われております。本町においても、依然として厳しい行

財政環境にあり、決して予断を許す状況ではありません。こうした厳しい環境を乗り越え、魅力あるまちづくりを進めていくためには、町民の皆様とのニーズと社会情勢の変化に的確に対応した行財政運営を行っていくかなければならないと考えます。

議会といたしましても、昨年4月の統一地方選挙において、議会改革の一つとして取り組んだ議員定数1名減ということで、12名の新体制で初心を忘れることなく、決意も新たに住民福祉の向上に努めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、どうかこの一年が、皆様にとって幸多く、実り豊かな年となりますよう、ご祈念申し上げます。新年を迎えての挨拶といたします。



芦屋町議会  
議長 小田 武人

## 一般質問

# 町政を問う

12月7日に議員4人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。質問する議員は、事前に質問通告書を提出し、本会議において1人60分の制限時間内で質問を行っています。

議会だよりでは、質問した議員が自ら記事を作り掲載していますが、紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

◎：記事掲載あり      ○：記事掲載なし

ページ	質問議員	質問事項
7	川上 誠一	◎松枯れ対策 ◎子ども医療費の拡充 ○地方創生戦略
8	松岡 泉	◎水害防止対策 ◎健康づくり
9	刀根 正幸	◎元気な町づくり
10	田島 憲道	◎地方創生及び活力ある産業を育む町づくり





かわ 川 かい 上 せい 誠 いち

# Q 松枯れ対策協議会を設置するべきでは

# A 住民と話し合いながら、住民参加の協議会の設置が必要である



鶴松墓地に植樹された松の苗

### 松枯れ対策

**議員** 松枯れ被害が深刻化しているが被害の推移はどうなっているのか。

**課長** 平成19年は382本だったが、23年は1335本。24年は1414本。25年は2015本。26年は621本。27年は546本となっている。

**議員** 松枯れ対策の効果もあり減少傾向とみられるが、空中散布については安全性と環境保全に留意して行うべきだ。

**議員** 芦屋基地内の松枯れの状況は。

**課長** 25年度から爆発的に増え、3585本。26年度は4288本。27年度は5000本を超えている。

**議員** 芦屋基地での対策は。

**課長** 航空防除に加え、25年度からは植樹を1500本行っている。今後も植樹を増やしてい

くようだ。

**議員** 岡垣町では三里松原防風保安林保全対策協議会を設置し、植樹や環境整備を行っている。

芦屋町でも対策協議会を設置するべきでは。

**課長** 植樹や松葉かき、木の除伐などに取り組みむためには、対策協議会の設置が必要である。

**議員** 里浜づくり事業の取り組みは。

**課長** 3月に6000本植樹する予定で、最終的には2万6000本植樹する。

維持管理活動が必要になるので、住民と話し合いながら住民参加の取り組みを行いたい。

**議員** 教育フォーラムで、芦屋小学校の松が枯れていくことに危機感を感じた児童が、三里松原の歴史や松のことを勉強し、「松再生プロジェクト」に取り組んでいることを報告していた。

大変素晴らしいと感じ

た。小学生や中学生、青年が「未来にどんな芦屋町を残すのか」などを語り合いながら人材を育成すべきでないか。

**町長** 松枯れだけでなく、福祉や環境の分野でも人材を醸成しなければいけないと考える。

### 子ども医療費の拡充

**議員** 県の子どもの医療費の改正案の内容は。

**課長** 対象年齢が入院通院とも小学校6年生まで引き上げられる。

**議員** 町の財政負担の削減はどのくらいか。

**課長** 700万円程度削減が見込まれる。

**議員** 地方創生の施策として、子ども医療費を中学3年生まで拡充すべきでは。

**町長** 定住化策の検討のポイントである子ども医療費の拡大は、検討すべきと思っている。

Q

# タイムライン（防災行動計画）の策定が必要では

A

## 河川事務所と連携し、タイムライン簡易版の作成を検討する



まつ松 おか岡 いずみ泉



三軒屋区における大雨・洪水避難訓練の様子（H27・12・23）

※注1：コンビニ健診  
特定健診とがん検診の受診率向上を目指し、日常生活で利用するコンビニエンスストアを検診会場とする事業をいう。

### 水害防止対策

**議員** 一番危険と考えられる地域はどこか。

**課長** 山鹿の河畔公園から汐入川の河口にかけての約200メートルである。

**議員** 水害が起これると予測される降水量は、どのくらいか。

**課長** 1時間に40ミリを超える雨が3時間以上続くと、水害被害の発生が予測される。

**議員** この危険な地域の人は、どこへ避難すればよいか。また、避難所はいつ開設されるか。

**課長** 避難場所は、総合体育館となり、避難所の開設時期は、避難準備情報が発令された場合である。

**議員** 住民は、情報が入らない場合や連絡が取れない場合、どのように対応したらよいか。また、自治区の役割は。

**課長** 基本的に各自治区で情報収集をして、避難が必要と判断した場合、自治区全体及び組ごとなどで早めの避難行動をとってもらいたい。

**議員** 誰が、いつ、何をするかを示したタイムライン（防災行動計画）の策定が必要では。

**課長** 今回の関東・東北の豪雨を受けて、11月25日に遠賀川河川事務所長と町長のトップセミナーが開催され、避難のためのタイムラインの整備についての説明があった。本事務所と連携、支援を受けて、タイムラインの簡易版の作成について検討する。

### 健康づくり

**議員** 健康寿命延伸のための取り組みは。

**課長** 福祉課では、「いきいき筋力アップ教室」「いきいき昼食会」「はつらつ健口講座」「自治区

公民館体操教室」などをやっている。

**課長** 健康・こども課では、特定健診・がん検診の受診勧奨や保健師、栄養士による講話等の健康づくりの啓発などを行っている。

**議員** 疾病予防や健康増進のための今後の取り組みは。

**課長** 次年度から若年層の特定健診、糖尿病の重症化予防事業などを実施する予定である。

**議員** がん検診や特定健診の受診率をあげるため、<sup>注1</sup>コンビニ健診を行うてはどうか。

**課長** コンビニ健診は若者層の受診に有効な手段と考えるが、現在、地域の医療機関において精度の高い健診を提供している。

また、住民の受診の利便性は確保されており、各種の受診率の向上につながるかと考えている。





とねまさゆき  
力根正幸

# Q 人口増加対策は

# A 定住化促進奨励金の給付や空家バンク制度の創設を進める



登校する山鹿小学校の子どもたち  
(H28・1・15)

元気な町づくり

**議員** 高齢社会の到来など社会の急激な変化に、

国は地方自治体に対してさまざまな指導を行っている。

その一つに地方創生事業があり、このいかんによつては、自治体の存続に関わる事だと言われている。

事業成功の鍵となる情報提供や目標設定をわかりやすくし、官民が協力して、厳しい時代を乗り越えていくために、これからの課題となる人口増加対策について尋ねる。

**課長** 26年度から、定住促進奨励金などの給付を行い、町外からの定住者や芦屋町に継続して住み続けるという人は増えている。また、空家バンク制度の創設も検討している。

**議員** 転出者の多い主な理由は、

**課長** 人口ビジョン策

定の際の分析によると、10代から20代の男性の転出が顕著になっている。

また、通勤通学などの理由で多くの方が転出しており、通勤網の整備等で、芦屋町に居住する可能性は高いと考える。

**議員** 交通の利便性が悪く、働く場が少ないため、歳をとった時に住みにくいという声を聞く。

芦屋町は行政面積が狭いので、土地の有効利用を図る上で、農地などの規制緩和などが必要と考えるが。

**課長** 農地に関しては、農地法に規制されており、農地以外に転用する場合、農業委員会に届出、審査の後に県知事の許可が必要である。

**議員** 一昔前に、花美坂の開発が土地区画整理組合のもとで進められ、人口の減少を一時食い止めたことがあるが、雇用の場を含めた考えは、

**課長** 町の土地利用に

関しては、町の将来を見据えて土地利用計画や、それに基ついた都市施設の整備などをまとめた都市計画マスタープランが基本となり、28年度に都市計画基礎調査、29年度にマスタープランの見直しを実施する予定。

その中で地域特性に応じた土地利用などの見直しも全体計画として検討される。

**議員** 行政面積、人口ともに大きい遠賀町と比較し、芦屋町の方が職員数が多いのはなぜか。

**課長** 遠賀町とは行政機構や事務分掌が異なっており、一概に比較はできないが、総務省が公表している類似団体別職員数では、1万人当たりの職員数は74・44人で13番目になっている。



Q

## 防災、観光、定住促進のための無料Wi-Fi化は



た田 じま けん どう

A

観光立町を目指す町としては、取り組みの必要性は認識している



多くの観光客が訪れたあしや砂像展

地方創生及び活力ある産業を育む町づくり

**議員** 定住化促進施策として、防災、防犯、商工観光振興を視野に入れた、町内全域を公衆無料Wi-Fi<sup>注2</sup>化する考えはないか。

防災の放送は、聞こえにくい等があり、そうなった場合、各携帯電話が緊急メールを自動配信するとの答弁だった。しかし、携帯電話回線がパンクしたらどうするのか。福岡県は県内7カ所で防災、観光を含めたWi-Fi化を進めると発表した。国の補助金が半分来るということであり、芦屋町は大変コンパクトな町なので、ぜひ町も名乗りを上げてほしい

がいかかか。

おり、まず、光ファイバーの環境が整っている公共施設について、取り組めないかということで検討している。

さらには、観光ゾーン、それから中心市街地への拡大が図れないかという議論もあっている。

防災の放送は、聞こえにくい等があり、そうなった場合、各携帯電話が緊急メールを自動配信するとの答弁だった。しかし、携帯電話回線がパンクしたらどうするのか。福岡県は県内7カ所で防災、観光を含めたWi-Fi化を進めると発表した。国の補助金が半分来るということであり、芦屋町は大変コンパクトな町なので、ぜひ町も名乗りを上げてほしい

さらに、寄付先の市町村に土地や家屋があるが、遠く離れているため、管理が行き届かない方に対し、草刈りや掃除、家の管理といった代行サービスのものも出てきている。

**議員** 芦屋町はふるさと納税の返礼品に対しては、さほど熱心ではないようである。しかし、ある自治体の職員は「地方創生の起爆剤、地方が生き残っていくためのきっかけ」などと言っている。昨年度と現在までの寄付額はいくらか。

国の動向や周辺団体の内容を踏まえ、前向きに検討したい。

**課長** 今、地方創生推進委員会の中で、このWi-Fiの整備について

11月末現在で、217万円となっている。

も、特に観光に関して、その必要性が議論されて

は、返礼品の特典によりふるさと納税が、26年は

※注2：Wi-Fiはパソコンやタブレットなどのネットワーク対応機器が無線の電波で接続できることになること。

## 就農支援パッケージで 農業の担い手を確保

～長野県富士見町～

総務財政常任委員会は、11月17日から19日にかけ、長野県富士見町と松本市の視察研修を行いました。

### 富士見町

富士見町では広大な農地と高地の寒暖差を生かした野菜栽培の農業振興策の一つとして先駆的に「新規就農支援パッケージ制度」に取り組んでいます。

この制度は、町への移住者支援制度の一つで、農業の担い手確保のために、「住宅」「農地」「研修」「機械」の4点をパッケージ化し、環境を整えて就農支援するものです。平成22年から、34件の支援実績があり、企業経営体

これらの商店街は、国庫補助の街並み環境整備事業を活用し、平成18年度から5年間で整備されました。

として育っていますが、既農業者との狭間で苦勞された担当係長の考え、やる気に敬服しました。また、農業法人の進出によって、地域に雇用・経済・税収の効果が生まれました。今後は農業ICT導入の検討を進めるそうです。

### 松本市

**住民と協働で個性あるまちづくり**

松本市では「中町通り商店街と縄手通り商店街」の視察を行いました。



松本市縄手通り商店街視察 (H27.11.17)

## 高齢者福祉・介護保険・ 地域包括ケアを一体的に

～岩手県西和賀町～

の結果、介護・医療の関係機関の情報共有化が図られ、高齢者への支援システムが十分に機能していました。

また、医療・介護・予防・住まい・生活支援をしていくための人材の確保と地域リーダーの養成事業として、地域の元気な高齢者の出番づくりなどの取り組みを行っていました。

民生文教常任委員会は11月9日から11日にかけて、芦屋町の課題である交通関係とこれからの福祉政策について岩手県西和賀町と雫石町の視察研修を行いました。

地域特性として、降雪が多く、共助の必要性があるため、自治区の加入率は100%でした。芦屋町においても加入率の向上のために共助の必要性を十分訴える必要があると認識しました。

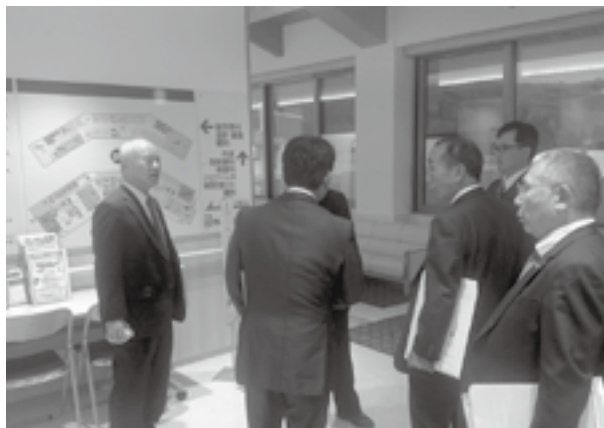
### 西和賀町

西和賀町では地域包括ケアについて視察を行いました。

町立病院内にケアセンターを設け、高齢者福祉と介護保険事業・地域包括ケアシステムを一体的に取り組んでいます。そ

### 雫石町

**デマンド交通で町民の足を確保**



町立西和賀さわうち病院内視察 (H27.11.10)

## 町かどインタビュー

芦屋町でもますます高齢化が進み、老人介護施設の需要が高まる中、昨年11月に山鹿（大君）にオープンした特別養護老人ホームソレイユ芦屋を広報委員会で見学訪問しました。ソレイユ芦屋の運営方針や課題などについて、施設職員の方にお話を伺いました。

**Q** ソレイユ芦屋の特色は？

**A** 転倒しても骨折しにくいような床の設計にし、ウイルスなどが蔓延しないよう特に加湿と空間除菌に気をつけています。

また、地域の元気な高齢者に「ソレイユクラブ」に入会していただき、入

所者の話し相手や掃除などのお手伝いのボランティア活動をしてもらっています。

**Q** 芦屋町で開設することの思いは？

**A** 有料老人ホームより比較的安価で希望者が入所しやすい特養を開設し、芦屋釜などの歴史のある芦屋の地で頑張ろうと思っ

には、大君区の地域の方と一緒にもちつきをしました。

**Q** 芦屋町のイメージは？

**A** 北九州市の施設に比べ、入所者への面会が多いことから、芦屋の方はお年寄りを大切にされていると感じます。

**Q** 運営上の課題は？

**A** 入所費用や待機者数などの情報が、高齢者にわかりやすく提供できていないと感じます。待機者が順番に入

り、12月末  
元の協力が  
不可欠であ  
営には地  
特養の運  
消に取り組  
みます。  
また、食  
材の地産地  
消に取組  
みます。  
地で頑張ろ  
うと思っ  
ています。  
また、食  
材の地産地  
消に取組  
みます。  
地で頑張ろ  
うと思っ  
ています。

報の共有化が必要だと思



左から 徳永さん（事務員）、阿部理事長、村岡施設長



地元大君区との合同もちつき大会（H27.12.26）



議会広報委員との懇談の様子（H27.12.25）

## 次回の定例会は 3月4日開会予定

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。  
また、本会議は役場1階ロビーと中央公民館1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合がありますので、傍聴を希望する方は議会事務局にお問い合わせください。（Tel 223-3579）

### 議員控室

昨年11月25日に福岡市で、町村議会広報研修が行われ、議会広報委員会の6人が参加しました。

その際、芦屋町の議会広報誌の表紙写真が好感度があるとして講師から紹介がありました。私は、心地よい満足感を得ました。それは、編集している「議会だより」が町民の皆さんに受け入れていただけると確信したからです。

今後とも、皆さんに喜んでいただける分かりやすい紙面づくりに挑戦してまいります。

松岡 泉

#### 【発行責任者】

議長 小田 武人

#### 【議会広報常任委員会】

委員長 川上 誠一  
副委員長 内海 猛年  
委員 田島 憲道  
委員 貝掛 俊之  
委員 今田 勝正  
委員 松岡 泉